

特定非営利活動法人 市川市ボランティア協会

ミニ映画会のお知らせ



日時：令和7年6月21日(土)10:00~ 上映時間108分

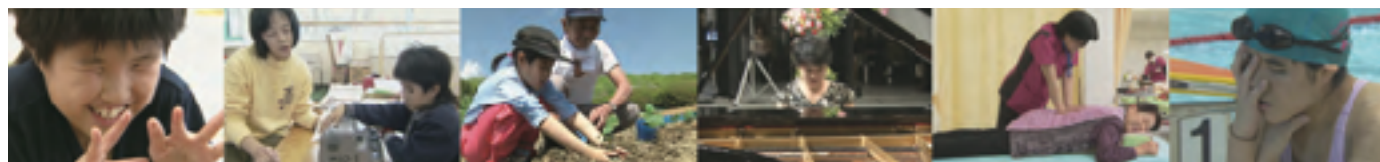
場所：全日警ホール第3会議室

(市川市八幡市民会館) 千葉県市川市八幡4-2-1

定員：100人 先着順 料金：200円

※電話で申込みください！

：市川市ボランティア協会080-1284-2856 まで
(平日9:00~17:00)



「命は、ひとつ」そう教えてくれたのは、重い障がいをもつ弟でした。 家族、友だち、恋人……すべての出会いが、イーちゃんを強くする。

静岡県に暮らす、生まれつき目が見えないイーちゃん（小長谷唯織）と、
重い障がいをもつ2歳下の弟・息吹（小長谷卓也）。遡ること25年前、盲学校に通うイー
ちゃんは次第に「どうして自分だけ違うのか」と疑問を抱き始める。たく
さんの友だちと離れ離れになり、いじめを経験し、大好きなピアノに触れ
ても晴れない心……。自殺という二文字が頭をよぎったとき、隣には病と
向き合い前進し続ける弟がいた。次々にやってくる挫折や苦難、数えきれ
ないほど立ち足る壁をひとつずつ乗り越えた先に、幸せはやってくる。
2018年に静岡3映画館で公開後、翌年には東京でも公開され観客を感動の
渦に包み込んだ『イーちゃんの白い杖』。新たな映像も追加された『特別編』
は2024年1月から2月にかけてフジテレビ系列28局で放送されるやいなや、
「涙が止まらない」「勇気をもらえた」「感銘を受けた」と絶賛の声が続々と
上がった。2023年日本民間放送連盟賞 テレビ・グランプリを受賞した心震
わすTVドキュメンタリーがいま、スクリーンで上映される。



なぜ、25年間取材を続けたのか——

監督 橋本真理子

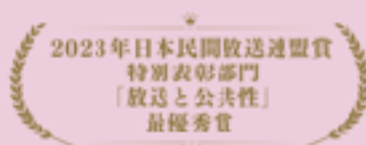
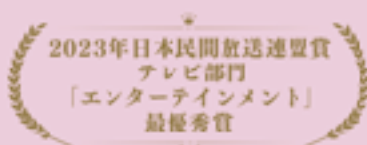
私の父も中途障がい者です。私が小学4年生の時、ステージ4の口腔がんを患った父は手術の末、歯を失い、舌を切除し、言語障がいとなりました。話すことも、食べることも困難になった父は家にこもるようになり「死にたい」と連呼するように。障がい者になったら人生終わるのか、隔れるようにして生きなければならないのか。そうであるなら変えたい、生まれながらに障がいがあっても、人生半ばで障がい者になっても堂々と生きられる社会にしたい、と私は養護学校（現在の特別支援学校）の教員免許を取得したうえでマスコミに入りました。入退院を繰り返し、手術を乗り越える息吹君と父が重なったのも事実です。

仕事と看病に疲れ果てた時、イーちゃん家族の強さはお手本でした。どれだけ励まされたか。もらった元気・勇気を多くの方に届けたい——。そう願い取材を続けてきました。『イーちゃんの白い杖特別編』はどこか笑えて、ちょっぴり泣けて、「あずから頑張ろう」と思える映画です。記者人生をかけた25年がここに詰まっています。



小長谷和美 小長谷卓也 小長谷修一 小長谷藤乃 橋田和典 海野昌代 斯波千秋
監督：橋本真理子 撮影：杉本真弓 編集：大澤裕也 音楽：川口カズヒロ（DATSUN320）
語り：春風亭昇太 デザイン：森部道子 効果：山川英夫・松阪史高 プロデューサー：日比野雅彦・永井学
制作：テレビ静岡 UDCast：Palabra株式会社 音声ガイドナレーター：堀内聖美
配給：浜松市民映画館シネマイール 配給協力：コピアボア・フィルム © テレビ静岡
2023年/日本/カラー/108分

公式HP: i-chn2024.com



2023年日本民間放送連盟賞 テレビ・グランプリ

